

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| 商品分類 | 追加型投信／内外／資産複合 | |
|--------|--|---|
| 信託期間 | 2022年12月27日まで（2012年4月10日設定） | |
| 運用方針 | ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。 | |
| 主要運用対象 | 国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）分配型 | 外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券（Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無））、マネー・プール マザーファンド受益証券 |
| | Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無） | 世界各国の先物取引等に係る権利および金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式 |
| | マネー・プール マザーファンド | わが国の公社債 |
| 運用方法 | <ul style="list-style-type: none"> 主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも投資を行います。 ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッドが提供する「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」を活用します。 | |
| 主な組入制限 | <ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 | |
| 分配方針 | 毎年3、6、9、12月の27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。） | |

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）分配型

第40期（決算日：2022年3月28日）

第41期（決算日：2022年6月27日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）分配型」は、去る6月27日に第41期の決算を行いましたので、法令に基づいて第40期～第41期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近10期の運用実績

| 決 算 期 | 基 (分配落) | 準 価 額 | | | 債 組 入 比 | 券 率 | 債 先 物 比 | 券 率 | 投 資 信 託 組 入 比 率 | 純 資 産 総 額 |
|------------------|------------|-------|-----|-------|------------|--------|------------|--------|--------------------|--------------|
| | | 税 分 | 込 配 | み 金 | | | | | | |
| | 円 | | 円 | | % | % | % | % | 百万円 | |
| 32期(2020年3月27日) | 8,711 | | 0 | △ 3.4 | — | — | — | 95.1 | 498 | |
| 33期(2020年6月29日) | 7,854 | | 0 | △ 9.8 | — | — | — | 94.9 | 449 | |
| 34期(2020年9月28日) | 7,438 | | 0 | △ 5.3 | — | — | — | 94.9 | 418 | |
| 35期(2020年12月28日) | 7,373 | | 0 | △ 0.9 | — | — | — | 95.2 | 293 | |
| 36期(2021年3月29日) | 7,961 | | 0 | 8.0 | — | — | — | 94.9 | 308 | |
| 37期(2021年6月28日) | 8,094 | | 0 | 1.7 | — | — | — | 94.9 | 196 | |
| 38期(2021年9月27日) | 8,291 | | 0 | 2.4 | — | — | — | 95.0 | 199 | |
| 39期(2021年12月27日) | 8,189 | | 0 | △ 1.2 | — | — | — | 95.0 | 194 | |
| 40期(2022年3月28日) | 9,423 | | 0 | 15.1 | — | — | — | 95.2 | 221 | |
| 41期(2022年6月27日) | 10,533 | | 300 | 15.0 | — | — | — | 94.9 | 224 | |

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

| 決 算 期 | 年 月 日 | 基 準 価 額 | 騰 落 率 | | 債 組 入 比 率 | 債 先 物 比 率 | 投 資 信 託 組 入 比 率 |
|-------|----------------------|------------|--------|--------|-----------|-----------|-----------------|
| | | | 騰 落 率 | 騰 落 率 | | | |
| 第40期 | (期 首) 2021年12月27日 | 円 8,189 | % - | % - | % - | % - | % 95.0 |
| | 12月末 | 8,281 | 1.1 | - | - | - | 95.0 |
| | 2022年1月末 | 8,163 | △ 0.3 | - | - | - | 95.0 |
| | 2月末 | 8,560 | 4.5 | - | - | - | 95.0 |
| | (期 末) 2022年3月28日 | 9,423 | 15.1 | - | - | - | 95.2 |
| 第41期 | (期 首) 2022年3月28日 | 9,423 | - | - | - | - | 95.2 |
| | 3月末 | 9,848 | 4.5 | - | - | - | 95.4 |
| | 4月末 | 10,363 | 10.0 | - | - | - | 95.1 |
| | 5月末 | 10,200 | 8.2 | - | - | - | 94.9 |
| | (期 末) 2022年6月27日 | 10,833 | 15.0 | - | - | - | 94.9 |

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

運用経過

第40期～第41期：2021年12月28日～2022年6月27日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



| | |
|-------|---------|
| 第40期首 | 8,189円 |
| 第41期末 | 10,533円 |
| 既払分配金 | 300円 |
| 騰落率 | 32.3% |

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ32.3%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

> 基準価額の主な変動要因

上昇要因

為替市場やエネルギー市場の変動に加えて、実質的に投資している米ドルなどの外貨建資産通貨が対円で上昇したことなどがプラスに寄与しました。

第40期～第41期：2021年12月28日～2022年6月27日

▶ 投資環境について

▶ 株式市況

日本を含む先進国の株式市況は、ロシアのウクライナ侵攻や、欧米などを中心としたロシア産原油の禁輸による需給ひっ迫懸念を受けた原油価格上昇、インフレ懸念の高まりと主要中央銀行における金融引き締め姿勢などから下落しました。新興国の株式市況も下落しました。

▶ 債券市況

日本を含む先進国の債券利回りは、主要中央銀行における金融引き締め姿勢などから上昇しました。新興国の債券利回りも上昇しました。

▶ 商品市況

原油価格は、欧米などを中心としたロシア産原油の禁輸による需給ひっ迫懸念などから大きく上昇しました。金価格は小幅に上昇しました。

▶ 為替市況

金利差が拡大したことから、円は米ドルやユーロなどに対して下落しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当作成期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.040%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）分配型

当ファンドは、外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券「Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

当作成期末においては、Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）を94.9%、マネー・プール マザーファンドを少額組み入れています。

▶ Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）

（当記載は、外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d の資料を基に、三菱 U F J 国際投信が作成したものです。）

Q T X W C M G D P F u n d では実質的にウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド（以下「ウィントン社」）の「マネージド・フューチャー

ズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行いました。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定し、主として、世界各国の株式や先物取引に実質的に投資を行いました。

▶ マネー・プール マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を目指した運用を行いました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

| 項目 | 第40期 | 第41期 |
|----------------|------------------------|-----------------------|
| | 2021年12月28日～2022年3月28日 | 2022年3月29日～2022年6月27日 |
| 当期分配金（対基準価額比率） | －（－％） | 300 (2.769%) |
| 当期の収益 | － | 299 |
| 当期の収益以外 | － | 0 |
| 翌期繰越分配対象額 | 239 | 532 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）分配型

引き続き、当ファンドが主要投資対象とする外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券「Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

▶ Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）

（当記載は、外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d の資料を基に、三菱 U F J 国際投信が作成したものです。）

Q T X W C M G D P F u n d では実質的にウィントン社の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行います。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定します。

マネージド・フューチャーズ戦略

主として世界中の先物及び先渡取引を投資対象とし、ウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより取引対象の値動きの方向性を捉え追従すること（トレンド・フォロワー戦略）によって収益の獲得を目指します。当戦略は、世界中の100以上の様々な市場に投資をすることで分散ポートフォリオを構築、ロング・ポジション（買い持ち）及びショート・ポジション（売り持ち）の両方を駆使することで特定の市場における資産価格の上昇のみに依存しないように設計されています。

株式運用戦略

世界中の株式を投資対象とし、現物株式や株式指数のロング・ポジション（買い持ち）又はショート・ポジション（売り持ち）を活用する、株式市場の上昇だけに依存しない収益の獲得を目指す戦略です。取引対象の売買判断及び配分比率の決定はウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより行われます。

▶ **マネー・プール マザーファンド**

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保を目指した運用を行う方針です。

2021年12月28日～2022年6月27日

1万口当たりの費用明細

| 項目 | 第40期～第41期 | | 項目の概要 |
|-----------|-----------|---------|---|
| | 金額 (円) | 比率 (%) | |
| (a) 信託報酬 | 59 | 0.620 | (a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数) |
| （投信会社） | (26) | (0.274) | ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 |
| （販売会社） | (31) | (0.329) | 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 |
| （受託会社） | (2) | (0.016) | ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) その他費用 | 1 | 0.005 | (b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数 |
| （監査費用） | (1) | (0.005) | ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用 |
| 合計 | 60 | 0.625 | |

作成期中の平均基準価額は、9,457円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

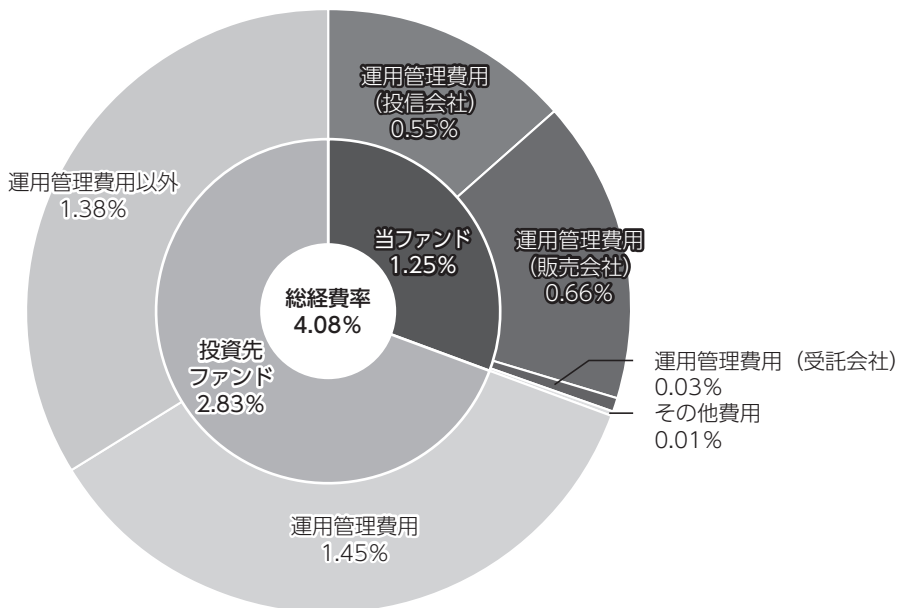
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は4.08%**です。



| | | |
|----------------------|-----|------|
| 総経費率 (①+②+③) | (%) | 4.08 |
| ①当ファンドの費用の比率 | (%) | 1.25 |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | (%) | 1.45 |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | (%) | 1.38 |

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年12月28日～2022年6月27日)

投資信託証券

| 銘 | | 柄 | | 第40期～第41期 | | | | | | | |
|---|---|-------|-------|-----------|----------------------|-----------|-------|----|--------|----|----|
| | | | | 買 | | 付 | | 売 | | 付 | |
| | | | | 口 | 数 | 金 | 額 | 口 | 数 | 金 | 額 |
| 国 | 内 | Q T X | W C M | G D P | F u n d (日本円建て、ヘッジ無) | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| | | | | | | 0.8757 | 1,700 | 18 | 35,500 | | |
| | | | | | | (△0.7737) | (-) | | | | |

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は分割・合併および償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年12月28日～2022年6月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年6月27日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

| 銘 | | 柄 | | 第39期末 | | 第41期末 | | | |
|---|--|-------|-------|-------|----------------------|-------|-----|---------|------|
| | | | | 口 | 数 | 口 | 数 | 評 価 額 | 比 率 |
| | | | | 千口 | 千円 | 千円 | | % | |
| | | Q T X | W C M | G D P | F u n d (日本円建て、ヘッジ無) | 119 | 101 | 213,077 | 94.9 |
| | | 合 | 計 | | | 119 | 101 | 213,077 | 94.9 |

(注) 比率は国際オルタナティブ戦略 Q T X -ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）分配型の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

| 銘 | | 柄 | | 第39期末 | | 第41期末 | |
|---|--|---|------|-------|----|-------|----|
| | | | | 口 | 数 | 口 | 数 |
| | | | | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| | | マ | ネー・プ | ール | マ | ザ | ー |
| | | | | 99 | 99 | 99 | 99 |

○投資信託財産の構成

(2022年6月27日現在)

| 項 目 | 第41期末 | |
|-----------------|---------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 投資証券 | 千円 213,077 | % 92.0 |
| マネー・プール マザーファンド | 99 | 0.0 |
| コール・ローン等、その他 | 18,438 | 8.0 |
| 投資信託財産総額 | 231,614 | 100.0 |

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

| 項 目 | 第40期末 | 第41期末 |
|----------------------|--------------|--------------|
| | 2022年3月28日現在 | 2022年6月27日現在 |
| | 円 | 円 |
| (A) 資産 | 223,093,338 | 231,614,928 |
| コール・ローン等 | 12,327,807 | 18,428,490 |
| 投資証券(評価額) | 210,665,582 | 213,077,682 |
| マネー・プール マザーファンド(評価額) | 99,949 | 99,949 |
| 前払金 | - | 8,807 |
| (B) 負債 | 1,699,035 | 7,125,727 |
| 未払収益分配金 | - | 6,393,924 |
| 未払信託報酬 | 627,042 | 725,391 |
| 未払利息 | - | 22 |
| その他未払費用 | 1,071,993 | 6,390 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 221,394,303 | 224,489,201 |
| 元本 | 234,960,855 | 213,130,801 |
| 次期繰越損益金 | △ 13,566,552 | 11,358,400 |
| (D) 受益権総口数 | 234,960,855口 | 213,130,801口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 9,423円 | 10,533円 |

○損益の状況

| 項 目 | 第40期 | 第41期 |
|------------------|----------------------------|---------------------------|
| | 2021年12月28日～ 2022年3月28日 | 2022年3月29日～ 2022年6月27日 |
| | 円 | 円 |
| (A) 配当等収益 | △ 220 | △ 631 |
| 受取利息 | 8 | - |
| 支払利息 | △ 228 | △ 631 |
| (B) 有価証券売買損益 | 29,610,003 | 30,790,115 |
| 売買益 | 30,703,595 | 32,797,524 |
| 売買損 | △ 1,093,592 | △ 2,007,409 |
| (C) 信託報酬等 | △ 632,567 | △ 731,781 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 28,977,216 | 30,057,703 |
| (E) 前期繰越損益金 | △51,256,838 | △20,208,758 |
| (F) 追加信託差損益金 | 8,713,070 | 7,903,379 |
| (配当等相当額) | (4,896,111) | (4,441,235) |
| (売買損益相当額) | (3,816,959) | (3,462,144) |
| (G) 計(D+E+F) | △13,566,552 | 17,752,324 |
| (H) 収益分配金 | 0 | △ 6,393,924 |
| 次期繰越損益金(G+H) | △13,566,552 | 11,358,400 |
| 追加信託差損益金 | 8,713,070 | 7,903,379 |
| (配当等相当額) | (4,896,111) | (4,441,235) |
| (売買損益相当額) | (3,816,959) | (3,462,144) |
| 分配準備積立金 | 728,850 | 3,455,652 |
| 繰越損益金 | △23,008,472 | △ 631 |

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 237,481,456円
 作成期中追加設定元本額 9,581円
 作成期中一部解約元本額 24,360,236円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.0533円です。

②分配金の計算過程

| 項 目 | 2021年12月28日～ 2022年3月28日 | 2022年3月29日～ 2022年6月27日 |
|---------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | -円 | -円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | -円 | 9,188,473円 |
| 収益調整金額 | 4,896,111円 | 7,902,748円 |
| 分配準備積立金額 | 728,850円 | 661,103円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 | 5,624,961円 | 17,752,324円 |
| 1万口当たり収益分配対象額 | 239円 | 832円 |
| 1万口当たり分配金額 | -円 | 300円 |
| 収益分配金金額 | -円 | 6,393,924円 |

○分配金のお知らせ

| | 第40期 | 第41期 |
|-----------------|------|------|
| 1 万口当たり分配金（税込み） | 0円 | 300円 |

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

当ファンドは信託約款に基づき、2022年12月27日に信託期間を終了し満期償還となる予定です。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）分配型が投資対象とする外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券です。

| | |
|------------------|--|
| 名 称 | Q T X W C M G D P F u n d |
| 投資証券（シェア・クラス）の名称 | Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ無) |
| 形 態 | ケイマン籍外国投資法人 |
| 投資の基本方針 | 主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも投資を行います。 |
| 運 用 方 針 | <p>ウィントン社の「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」により運用を行います。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定します。</p> <p>【マネージド・フューチャーズ戦略】 主として世界中の先物及び先渡取引を投資対象とし、ウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより取引対象の値動きの方向性を捉え追従すること（トレンド・フォロー戦略）によって収益の獲得を目指します。当戦略は、世界中の100以上の様々な市場に投資をすることで分散ポートフォリオを構築、ロング・ポジション（買い持ち）及びショート・ポジション（売り持ち）の両方を駆使することで特定の市場における資産価格の上昇のみに依存しないように設計されています。</p> <p>【株式運用戦略】 世界中の株式を投資対象とし、現物株式や株式指数のロング・ポジション（買い持ち）又はショート・ポジション（売り持ち）を活用する、株式市場の上昇だけに依存しない収益の獲得を目指す戦略です。取引対象の売買判断及び配分比率の決定はウィントン社の計量分析に基づくコンピューター・プログラムにより行われます。</p> |
| 投資顧問会社 | ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド |
| ア レ ン ジ ャ ー | ゴールドマン・サックス・インターナショナル |
| 設 定 日 | 2012年4月12日 |
| 会 計 年 度 | 毎年1月1日から12月31日まで |

※Q T X W C M G D P F u n d は日本において届出は行われておらず、日本においてQ T X W C M G D P F u n d への直接投資を行うことはできません。

※ウィントン社の運用は、Q T X W C M G D P T R A D I N G を通じて行われます。

QTX WCM GDP Fund

包括利益計算書、純資産変動計算書、投資概況は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 包括利益計算書

QTX WCM GDP Fund

2020年12月31日に終了した年度

(米ドルで表示)

投資損益*純損益を通じて公正価値で測定する金融商品*

QTX WCM GDP TRADINGに係る未実現損益の純変動 (2,500,092)

QTX WCM GDP TRADINGに係る実現損益 (純額) 501,023

デリバティブに係る未実現損益の純変動 13,190

デリバティブに係る実現損益 (純額) 208,003

金融商品の償却原価

為替に係る未実現損益の純変動 (915)

為替に係る実現損益 (純額) (1,861)

維持管理料の割り戻し 180,617

受取利息 3,180

投資純損益 (1,596,855)

運用費用

運用受託報酬 170,105

市場への接続費用 85,042

ファンド管理報酬 48,501

支払利息 —

成功報酬 —

その他の費用 193,963

運用費用合計 497,611

運用による純資産の増減 (純額) **US\$** (2,094,466)

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

包括利益計算書（続き）

Q T X W C M G D P T R A D I N G *

2020年12月31日に終了した年度

（米ドルで表示）

投資損益*純損益を通じて公正価値で測定する金融商品*

| | |
|--------------------|-------------|
| デリバティブに係る未実現損益の純変動 | 457,395 |
| デリバティブに係る実現損益（純額） | (2,437,176) |
| 株式投資に係る未実現損益の純変動 | — |
| 株式投資に係る実現損益（純額） | — |
| 受取配当金 | 22,804 |
| スワップ取引による受取利息 | 243 |
| 支払配当金 | (45,673) |
| スワップ取引による支払利息 | (17,966) |

金融商品の償却原価

| | |
|----------------|--------|
| 為替に係る未実現損益の純変動 | (375) |
| 為替に係る実現損益（純額） | 20,474 |
| 受取利息 | 46,203 |
| その他の収益 | — |

投資純損益 (1,954,071)
運用費用

| | |
|---------|--------|
| 支払委託手数料 | 30,637 |
| 支払利息 | 11,710 |
| その他の費用 | 154 |

運用費用合計 42,501

| | |
|-------|-------|
| 源泉徴収税 | 2,497 |
|-------|-------|

運用による純資産の増減（純額） **US\$** (1,999,069)

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

*本報告書において「Q T X W C M G D P T R A D I N G」を「Trading Fund」ということがあります。

2. 純資産変動計算書

Q T X W C M G D P F u n d

2020年12月31日に終了した年度

(米ドルで表示)

| | | |
|---|--|------------------------|
| 期首 | | 20,552,436 |
| 運用による純資産の増減額 | | (2,094,466) |
| 資本取引 | | |
| un-hedged redeemable preference shares 発行 | | 161,454 |
| un-hedged redeemable preference shares 償還 | | (3,334,569) |
| hedged redeemable preference shares 発行 | | 60,823 |
| hedged redeemable preference shares 償還 | | (923,295) |
| 等化調整 | | — |
| | | (4,035,587) |
| 期末 | | US\$ 14,422,383 |
| 所有者の内訳 | | |
| ordinary shares の所有者に属する純資産 | | 2 |
| redeemable preference shares の所有者に属する純資産 | | US\$ 14,422,381 |

Q T X W C M G D P T R A D I N G

2020年12月31日に終了した年度

(米ドルで表示)

| | | |
|--|--|-----------------------|
| 期首 | | 19,023,043 |
| 運用による純資産の増減額 | | (1,999,069) |
| 資本取引 | | |
| redeemable preference shares 償還 | | (10,558,000) |
| 期末 | | US\$ 6,465,974 |
| 所有者の内訳 | | |
| ordinary shares の所有者に属する純資産 | | 2 |
| redeemable preference shares の所有者に属する純資産 | | US\$ 6,465,972 |

3. 投資概況

Q T X W C M G D P F u n d

金融商品

(米ドルで表示)

| | 純資産比率 | 公正価値 (2020年12月31日) |
|---|---------------|-----------------------|
| Investment in Trading Fund | 44.83% | 6,465,972 |
| <i>Derivative assets</i> | | |
| Forward currency exchange contracts | 0.27% | 39,597 |
| Total financial assets at fair value | 45.10% | US\$ 6,505,569 |

Q T X W C M G D P T R A D I N G

金融商品

(米ドルで表示)

| | 純資産比率 | 公正価値 (2020年12月31日) |
|--|--------------|-----------------------|
| <i>Derivative assets</i> | | |
| CFDs | 0.00% | — |
| Forward currency exchange contracts | 0.41% | 26,286 |
| Futures contracts | 6.74% | 435,760 |
| Total financial assets at fair value | 7.15% | US\$ 462,046 |
| <i>Derivative liabilities</i> | | |
| Forward currency exchange contracts | 0.02% | 1,570 |
| Futures contracts | 0.89% | 57,490 |
| Total financial liabilities at fair value | 0.91% | US\$ 59,060 |

投資概況 (続き)

Q T X W C M G D P T R A D I N G

為替のエクスポージャー

(2020年12月31日現在)

| | 金融資産 | 金融負債 | ネット・エクスポージャー |
|--------------------|----------------|-----------------|----------------|
| Australian dollar | 50,601 | — | 50,601 |
| Brazilian real | 8,849 | — | 8,849 |
| British pound | 28,964 | (1,086) | 27,878 |
| Canadian dollar | 28,091 | (6,661) | 21,430 |
| Czech koruna | 338 | — | 338 |
| Denmark krone | 4,208 | (598) | 3,610 |
| Euro | 161,350 | (35,262) | 126,088 |
| Hong Kong dollar | 1 | (3) | (2) |
| Hungarian forint | — | (99) | (99) |
| Indian rupee | 2 | — | 2 |
| Indonesian rupiah | — | (4) | (4) |
| Israeli shekel | — | (5) | (5) |
| Japanese yen | 25,893 | (36,610) | (10,717) |
| Malaysian ringgit | 13,865 | — | 13,865 |
| New Zealand dollar | — | (169) | (169) |
| Norwegian krone | 88 | (47) | 41 |
| Philippine peso | — | (4) | (4) |
| Polish zloty | — | (92) | (92) |
| Russian ruble | 1 | — | 1 |
| Singapore dollar | — | (2) | (2) |
| South African rand | 69 | — | 69 |
| Swedish krona | 1,444 | (39) | 1,405 |
| Swiss franc | — | (271) | (271) |
| Taiwan dollar | 2 | — | 2 |
| Turkish lira | 362 | — | 362 |
| US\$ | 324,128 | (80,952) | 243,176 |

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

デリバティブ金融資産

(2020年12月31日現在)

| デリバティブ資産 | 満期 | 契約数 | 名目 | 公正価値 |
|-------------------------------------|---------------|-----|-----------------------|---------|
| Forward currency exchange contracts | Jan 21-Mar 21 | 10 | US\$ 2,775,545 | 26,286 |
| Commodity futures contracts | Jan 21-Dec 21 | 134 | 6,472,658 | 287,763 |
| Currency futures contracts | Mar 21 | 61 | 4,871,825 | 53,504 |
| Index futures contracts | Jan 21-Mar 21 | 32 | 2,996,270 | 56,715 |
| Interest rate futures contracts | Mar 21-Dec 23 | 348 | 82,894,935 | 37,778 |
| CFDs | Current | 462 | 3,145,087 | — |
| | | | US\$ | 462,046 |

| デリバティブ負債 | 満期 | 契約数 | 名目 | 公正価値 |
|-------------------------------------|---------------|-----|---------------------|--------|
| Forward currency exchange contracts | Jan 21 | 2 | US\$ 107,605 | 1,570 |
| Commodity futures contracts | Jan 21-May 21 | 34 | 1,426,297 | 45,483 |
| Currency futures contracts | Mar 21 | 6 | 726,675 | 5,204 |
| Index futures contracts | Jan 21-Mar 21 | 4 | 395,854 | 2,207 |
| Interest rate futures contracts | Mar 21-Dec 23 | 26 | 5,942,561 | 4,596 |
| | | | US\$ | 59,060 |

マネー・プール マザーファンド

《第25期》決算日2022年1月14日

[計算期間：2021年7月15日～2022年1月14日]

「マネー・プール マザーファンド」は、1月14日に第25期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第25期の運用状況をご報告申し上げます。

| | |
|--------|------------------------------------|
| 運用方針 | わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。 |
| 主要運用対象 | わが国の公社債 |
| 主な組入制限 | 外貨建資産への投資は行いません。 |

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準 | 価額 | | 債組入比 | 券率 | 債先物比 | 券率 | 純総 | 資産額 |
|-----------------|--------|----|------|------|----|------|----|----|-----|
| | | 騰 | 落 | | | | | | |
| | 円 | | % | | % | | % | | 百万円 |
| 21期(2020年1月14日) | 10,041 | | △0.0 | | — | | — | | 130 |
| 22期(2020年7月14日) | 10,041 | | 0.0 | | — | | — | | 117 |
| 23期(2021年1月14日) | 10,041 | | 0.0 | | — | | — | | 230 |
| 24期(2021年7月14日) | 10,040 | | △0.0 | | — | | — | | 141 |
| 25期(2022年1月14日) | 10,040 | | 0.0 | | — | | — | | 52 |

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 | 月 | 日 | 基準 | 価額 | | 債組入比 | 券率 | 債先物比 | 券率 |
|---|------|------------|--------|----|-----|------|----|------|----|
| | | | | 騰 | 落 | | | | |
| | | | 円 | | % | | % | | % |
| | (期首) | 2021年7月14日 | 10,040 | | — | | — | | — |
| | | 7月末 | 10,040 | | 0.0 | | — | | — |
| | | 8月末 | 10,040 | | 0.0 | | — | | — |
| | | 9月末 | 10,040 | | 0.0 | | — | | — |
| | | 10月末 | 10,040 | | 0.0 | | — | | — |
| | | 11月末 | 10,040 | | 0.0 | | — | | — |
| | | 12月末 | 10,040 | | 0.0 | | — | | — |
| | (期末) | 2022年1月14日 | 10,040 | | 0.0 | | — | | — |

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

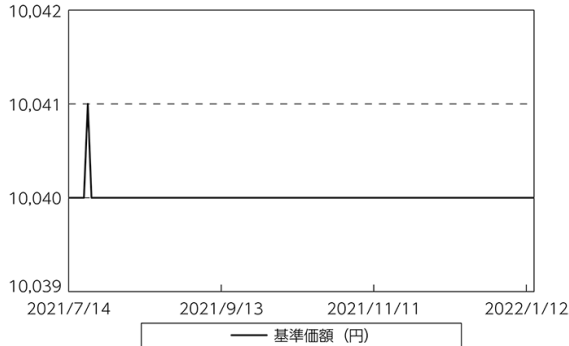
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.020%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年7月15日～2022年1月14日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2021年7月15日～2022年1月14日)

| | |
|---------|--|
| その他有価証券 | |
|---------|--|

| | | 買付額 | 売付額 |
|----|-------------|-----------------|-----------------|
| 国内 | コマーシャル・ペーパー | 千円 2,099,999 | 千円 2,199,999 |

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月15日～2022年1月14日)

該当事項はございません。

| |
|---|
| 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。 |
|---|

○組入資産の明細

(2022年1月14日現在)

2022年1月14日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2022年1月14日現在)

| 項目 | 当期末 | |
|--------------|--------------|------------|
| | 評価額 | 比率 |
| コール・ローン等、その他 | 千円 52,975 | % 100.0 |
| 投資信託財産総額 | 52,975 | 100.0 |

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年1月14日現在)

| 項目 | 当期末 円 |
|-----------------|-------------|
| (A) 資産 | 52,975,883 |
| コール・ローン等 | 52,975,883 |
| (B) 負債 | 29 |
| 未払解約金 | 16 |
| 未払利息 | 13 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 52,975,854 |
| 元本 | 52,766,508 |
| 次期繰越損益金 | 209,346 |
| (D) 受益権総口数 | 52,766,508口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 10,040円 |

<注記事項>

- ①期首元本額 140,827,312円
 期中追加設定元本額 3,333,052円
 期中一部解約元本額 91,393,856円
 また、1口当たり純資産額は、期末1,0040円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

| | |
|--|-------------|
| マナー・プール・ファンドVI | 36,277,569円 |
| 世界投資適格債オープン(為替ヘッジあり)(毎月決算型) | 5,154,901円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドX(年2回決算型) | 3,042,285円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドIX(1年決算型) | 1,996,342円 |
| トレンド・アロケーション・オープン | 997,308円 |
| 米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジあり | 996,215円 |
| 米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジなし | 996,215円 |
| 米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型) | 769,078円 |
| 米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型) | 220,146円 |
| 米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型) | 125,062円 |
| 米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型) | 119,857円 |
| 国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型) | 99,602円 |
| 国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 円コース(毎月決算型) | 99,602円 |
| 国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インド・ルピーコース(毎月決算型) | 99,602円 |
| 国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 為替ヘッジなしコース(毎月決算型) | 99,602円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型) | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(1年決算型) | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(1年決算型) | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 米ドルコース(1年決算型) | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(毎月決算型) | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(1年決算型) | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型) | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型) | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型) | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型) | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 円コース(1年決算型) | 99,592円 |
| 国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ) 分配型 | 99,562円 |
| 国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ) 成長型 | 99,562円 |
| 国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし) 成長型 | 99,562円 |
| 国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし) 分配型 | 99,561円 |
| 米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) トルコ・リラコース(毎月決算型) | 19,961円 |

○損益の状況 (2021年7月15日~2022年1月14日)

| 項目 | 当期 円 |
|----------------|----------|
| (A) 配当等収益 | △ 6,964 |
| 受取利息 | 206 |
| 支払利息 | △ 7,170 |
| (B) 当期損益金(A) | △ 6,964 |
| (C) 前期繰越損益金 | 569,961 |
| (D) 追加信託差損益金 | 13,292 |
| (E) 解約差損益金 | △366,943 |
| (F) 計(B+C+D+E) | 209,346 |
| 次期繰越損益金(F) | 209,346 |

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

| | | | |
|-------------------------|------------------|-----------------------|-------------|
| 国際・キャピタル | 日本株式オープン (通貨選択型) | ロシア・ルーブルコース (毎月決算型) | 9,986円 |
| 国際・キャピタル | 日本株式オープン (通貨選択型) | ロシア・ルーブルコース (1年決算型) | 9,986円 |
| 国際・キャピタル | 日本株式オープン (通貨選択型) | インドネシア・ルピアコース (1年決算型) | 9,986円 |
| 国際・キャピタル | 日本株式オープン (通貨選択型) | 中国元コース (毎月決算型) | 9,960円 |
| 国際・キャピタル | 日本株式オープン (通貨選択型) | 南アフリカ・ランドコース (1年決算型) | 9,960円 |
| 国際・キャピタル | 日本株式オープン (通貨選択型) | 中国元コース (1年決算型) | 9,960円 |
| 国際・キャピタル | 日本株式オープン (通貨選択型) | 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型) | 9,960円 |
| 国際・キャピタル | 日本株式オープン (通貨選択型) | トルコ・リラコース (毎月決算型) | 9,960円 |
| 国際・キャピタル | 日本株式オープン (通貨選択型) | トルコ・リラコース (1年決算型) | 9,960円 |
| 国際・キャピタル | 日本株式オープン (通貨選択型) | ユーロコース (毎月決算型) | 9,959円 |
| 国際・キャピタル | 日本株式オープン (通貨選択型) | ユーロコース (1年決算型) | 9,959円 |
| アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) | 年2回決算型 | | 9,952円 |
| アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) | 年2回決算型 | | 9,952円 |
| アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) | 毎月決算型 | | 9,952円 |
| アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) | 毎月決算型 | | 9,952円 |
| 欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり) | | | 4,979円 |
| 欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし) | | | 4,979円 |
| 合計 | | | 52,766,508円 |